

様式 11-1

事業報告書
(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名称 社会医療法人榮昌会
 ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
 ② ☒ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☐ その他
 ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号
- (3) 設立認可年月日 昭和46年 3月29日
- (4) 設立登記年月日 昭和46年 4月 1日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	吉田 泰久	当法人病院院長
副理事長	吉田 泰昌	当法人病院副院長
理 事	高橋 玲比古	医療法人社団さくら会高橋病院理事長
同	蓮池 俊明	蓮池内科診療所院長
同	奥知 博志	医療法人社団渾深会奥知外科医院理事長
同	濱野 聖二	医療法人社団はまの医院理事長
同	吉田 智恵子	当法人介護医療院よしだ管理者
同	津野 壽也	当法人事務局長
同	阿児 良典	当法人事務管理部部長
監 事	中村 正	医療法人川崎病院顧問
同	公文 敦	医療法人社団康人会理事長

- 注) 1. 社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。
 (医療法第46条の5第6項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第49条の4参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	社会医療法人榮昌 会吉田病院	神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号	一般病床 139床
介護医療 院	介護医療院よしだ	神戸市長田区東尻池町1丁目10番 23号	入所定員 90名

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
 2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
 3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。
 4. 介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
吉田病院ケアプランセンター	神戸市兵庫区大開通9丁目2番 11号	
吉田病院訪問看護ステーション	神戸市兵庫区大開通9丁目2番 11号	

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

	会議名	議決又は同意事項
令和 4年 6月 28日	定時社員総会	事業報告及び決算の承認の件
令和 5年 3月 30日	定時社員総会	事業計画及び予算の承認の件

- 注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

- 注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。
 医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

- 注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。
 2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。な

お、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

令和 年 月 日 （施設名・事業所名）

令和 年 月 日

令和 年 月 日

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

令和 年 月 日 （指定内容）

令和 年 月 日

令和 年 月 日

注）全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) そ の 他

注）当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

様式11-2

法人名 社会医療法人 榮昌会

※医療法人整理番号 28054

所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

財 産 目 録
(令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	5,139,521 千円
2. 負 債 額	1,593,558 千円
3. 純 資 産 額	3,545,963 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	3,519,270
B 固 定 資 産	1,620,251
C 資 産 合 計 (A + B)	5,139,521
D 負 債 合 計	1,593,558
E 純 資 産 (C - D)	3,545,963

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (☐ 法人所有 ☐ 賃借 ☒ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
 建 物 (☐ 法人所有 ☐ 賃借 ☒ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 社会医療法人 榮昌会

※医療法人整理番号 28054

所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

貸 借 対 照 表

(令和 5年 3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	3,519,270	I 流 動 負 債	489,608
現金及び預金	2,820,914	買 掛 金	184,324
事業未収金	651,502	短期借入金	45,880
未 収 金	29,013	未 払 金	5,488
たな卸資産	21,440	未 払 費 用	143,371
短期貸付金	4,320	仮 受 金	
その他の流動資産	387	未払法人税等	122
貸倒引当金	△ 8,306	未払消費税等	462
		預 り 金	31,220
II 固 定 資 産	1,620,251	賞 与 引 当 金	78,741
1 有 形 固 定 資 産	1,400,793		
建 物	742,817	II 固 定 負 債	1,103,950
構 築 物	5,051	長期借入金	506,390
医療用器械備品	272,860	退職給付引当金	209,728
その他の器械備品	12,597	役員退職慰労引当金	387,832
車両及び船舶	3,633		
土 地	352,615		
建設仮勘定	11,220		
2 無 形 固 定 資 産	34,986	負 債 合 計	1,593,558
ソフトウェア	33,422		
その他の無形固定資産	1,564	純 資 産 の 部	
3 そ の 他 の 資 産	184,472	科 目	金 額
長期前払費用	888	I 積 立 金	3,545,963
役員従業員長期貸付金	7,600	設立等積立金	1,501,405
差入保証金	5,296	繰越利益積立金	2,044,558
生命保険掛金	178,266		
その他の固定資産	22		
貸倒引当金	△ 7,600	純 資 産 合 計	3,545,963
資 産 合 計	5,139,521	負債・純資産合計	5,139,521

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 社会医療法人 榮昌会
所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

※医療法人整理番号 28054

損 益 計 算 書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		3,773,002
2 事業費用		3,488,057
(1)事業費	3,488,057	
(2)本部費		
本来業務事業利益		284,945
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		56,078
2 事業費用		66,251
附帯業務事業損失		△ 10,173
事業利益		274,772
II 事業外収益		
受取利息	50	
運営補助金収益	108,327	108,377
III 事業外費用		
支払利息	7,142	
その他の事業外費用		7,142
経常利益		376,007
IV 特別利益		
固定資産売却益	360	
その他の特別利益		360
税引前当期純利益		376,367
法人税・住民税及び事業税		122
当期純利益		376,245

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

法人名 社会医療法人 榮昌会
 所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

※医療法人整理番号 28054

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
役員の近親者が代表 者である法人	榮昌産業㈱ (注)1	兵庫県神戸市兵庫区大 開通9丁目2番11号	782,644	不動産の賃 借	不動産の賃 借	賃借料の支 払(注)2	60,432	地代家賃	-

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注)

- 1 関係事業者ごとに記載すること。
- 2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。
近親者である場合には続柄を記載する。
- 3 次に定める取引については上記の注記を要しない。
イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて
取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。
ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い
- 4 該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

社会医療法人榮昌会

理事長 吉田 泰久 殿

私たちは、社会医療法人榮昌会の令和3会計年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表(注2)の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和5年6月14日

社会医療法人榮昌会

監事 中村 正

監事 公文 敦

(注2) 関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とする。医療法第51条第2項に該当する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書及び附属明細表」とする。社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

2 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産

1) 建物 平成10年3月31日以前取得 定率法
上記以外 定額法

2) 建物附属設備・構築物

平成28年3月31日以前取得 定率法
上記以外 定額法

3) 1) 2) 以外の有形固定資産 定率法

②無形固定資産 定額法

3 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

前々会計年度末の負債総額が200億円未満であることから、債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しております。また、上記のほか、特定の債権については、個別に回収可能性を勘案して計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。

③ 退職給付引当金

前々会計年度の負債総額が200億円未満であることから、職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務を簡便法(退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法)により計算し、計上しております。

④ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

減価償却累計額 2,354,023,422 円

6 担保に供されている資産に関する事項

【担保に供している資産】

科目	金額（千円）
建物	742,816
土地	352,615
計	1,095,432

【担保に係る債務】

科目	金額（千円）
短期借入金	45,880
長期借入金	506,389
計	552,269

7 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業 内容	関係事業 者との関係	取引の 内容	取引金 額（千 円）	科目	期末残 高（千 円）
役員 の近 親者 が代 表者 であ る法 人	榮昌 産業 (株) (注)1	兵庫県 神戸市 兵庫区 大開通 9丁目 2番1 1号	782,644	不動 産の 賃借	不動産の 賃借	賃借料 の支払 (注)2	60,432	地代 家賃	なし

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 当法人理事長吉田泰久の配偶者が代表取締役である法人

(注) 2. 不動産の賃借料は、近隣相場を参考に決定している。

- 8 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項
有形固定資産の減価償却累計額 2,354,023,422 円

9 重要な補助金の注記

当年度に以下の主な補助金を集積として計上しています。

名称	金額（千円）
新型コロナウイルス感染症重点医療 機関体制整備事業補助金	44,247
計	44,247

様式第四号

法人名 社会医療法人 榮昌会

※医療法人整理番号 2-8-054

所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通 9 丁目 2 番 6 号

純資産変動計算書

(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 3 1 日)

(単位:千円)

	積立金			純資産合計
	設立等積立金	繰越利益積立金	積立金合計	
令和4年4月1日 残高	1,501,404	1,668,313	3,169,718	3,169,718
会計年度中の変動額				
当期純利益		376,245	376,245	376,245
会計年度中の変動額合計		376,245	376,245	376,245
令和5年3月31日 残高	1,501,404	2,044,559	3,545,964	3,545,964

1. 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
2. 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載することができる。
この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。
3. 積立金及び純資産の各合計欄の記載は省略することができる。

様式第六号

法人名 社会医療法人 榮昌会

※医療法人整理番号 28054

所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	11,091	8,306		11,091	8,306
賞与引当金	86,509	78,741	86,509		78,741
退職給付引当金	218,470	19,704	28,445		209,728
役員退職慰労引当金	372,432	15,400			387,832
貸倒引当金	11,400			3,800	7,600

1. 前期末及び当期末貸借対照表に計上されている引当金について、設定目的ごとの科目の区分により記載すること。
2. 「当期減少額」の欄のうち「目的使用」の欄には、各引当金の設定目的である支出又は事実の発生があったことによる取崩額を記載すること。
3. 「当期減少額」の欄のうち「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、減少の理由を注記すること。

様式第九の一号

法人名 社会医療法人 榮昌会

※医療法人整理番号 28054

所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事業費	本部費	計			
材料費	369,153		369,153			369,153
給与費	2,297,248		2,297,248	31,171		2,328,420
委託費	160,364		160,364			160,364
経費	213,537		213,537	224		213,761
売上原価			0			0
その他の事業費用	447,753		447,753	34,855		482,608
計	3,488,057		3,488,057	66,251		3,554,308

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. 中科目区分には、それぞれ細区分を設け、売上原価については、商品（又は製品）期首たな卸高、当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）、商品（又は製品）期末たな卸高を、材料費、給与費、委託費、経費及びその他の費用については、その内訳を示す費目を記載する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

様式第七号

法人名 社会医療法人 榮昌会

※医療法人整理番号 28054

所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

借入金等明細表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	—	—	—	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	45,880	45,880	1.0	—
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	552,270	506,390	1.0	—
その他の有利子負債	—	—	—	—
合 計	598,150	552,270	—	—

1. 短期借入金、長期借入金（貸借対照表において流動負債として掲げられているものを含む。以下同じ。）及び金利の負担を伴うその他の負債（以下「その他の有利子負債」という。）について記載すること。
2. 重要な借入金で無利息又は特別の条件による利率が約定されているものがある場合には、その内容を欄々に記載すること。
3. 「その他の有利子負債」の欄は、その種類ごとにその内容を示したうえで記載すること。
4. 「平均利率」の欄には、加重平均利率を記載すること。
5. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く。）及びその他の有利子負債については、貸借対照表日を経営5年内における1年ごとの返済予定額の総額を注記すること。

様式第五号

法人名 社会医療法人 榮昌会

※医療法人整理番号 28054

所在地 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
有形固定資産	建物	2,142,379	31,268	-	2,173,647	1,430,830	58,110	742,817
	構築物	42,313	-	-	42,313	37,262	933	5,051
	医療用器械備品	780,252	264,540	-	1,044,792	771,932	73,740	272,860
	その他の器機備品	101,405	8,018	-	109,423	96,826	5,772	12,597
	車両及び船舶	19,842	2,210	1,247	20,805	17,172	2,700	3,633
	土地	352,615	-	-	352,615	-	-	352,615
	計	3,438,806	306,036	1,247	3,743,595	2,354,022	141,255	1,389,573
無形固定資産	電話加入権	1,564	-	-	1,564	-	-	1,564
	ソフトウェア	139,298	23,032	-	162,330	128,908	5,364	33,422
	計	140,862	23,032	-	163,894	128,908	5,364	34,986
その他の資産	出資金	22	-	-	22	-	-	22
	長期前払費用	1,300	7	419	888	-	-	888
	差入保証金	5,840	56	600	5,296	-	-	5,296
	生命保険掛金	146,450	31,816	-	178,266	-	-	178,266
	計	153,612	31,879	1,019	184,472	-	-	184,472

1. 有形固定資産、無形固定資産及びその他の資産について、貸借対照表に掲げられている科目の区分により記載すること。
2. 「前期末残高」、「当期増加額」、「当期減少額」及び「当期末残高」の欄は、当該資産の取得原価によって記載すること。
3. 当期末残高から減価償却累計額又は償却累計額を控除した残高を、「差引当期末残高」の欄に記載すること。
4. 合併、贈与、災害による廃棄、滅失等の特殊な事由で増加若しくは減少があった場合又は同一の種類のものについて資産の総額の1%を超える額の増加は、その事由を欄外に記載すること。若しくは減少があった場合（ただし、建設仮勘定の減少のうち各資産科目への振替によるものは除く。）
5. 特別の法律の規定により資産の再評価が行われた場合その他特別の事由により取得原価の修正が行われた場合には、当該再評価差額等については、「当期増加額」又は「当期減少額」の欄に内書（括弧書）として記載し、その増減の事由を欄外に記載すること。
6. 有形固定資産又は無形固定資産の金額が資産の総額の1%以下である場合又は有形固定資産及び無形固定資産の当該会計年度におけるそれぞれの増加額及び減少額がいずれも当該会計年度末における有形固定資産又は無形固定資産の総額の5%以下である場合には、有形固定資産又は無形固定資産に係る記載中「前期末残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の欄の記載を省略することができる。なお、記載を省略した場合には、その旨注記すること。

28054

独立監査人の監査報告書

2023年6月13日

社会医療法人 榮昌会
理事会 御中

中山公認会計士事務所
大阪府大阪市

公認会計士

中山 博行

監査意見

私は、医療法第51条第5項の規定に基づき、社会医療法人榮昌会の2022年4月1日から2023年3月31日までの第53期の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制

の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

医療法第42条の2第1項第5号の要件に該当する旨を説明する書類

申請者名：社会医療法人榮昌会 理事長 吉田泰久

住 所：兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

以下のとおり相違ありません。

施 設 名	社会医療法人榮昌会吉田病院
施設の所在地	兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号
管轄保健所名	神戸市保健所

1 診療科目

科 目	脳神経外科	脳神経内科	内科	循環器科	リハビリテーション科	麻酔科
	外科	科	科	科	科	科
	科	科	科	科	科	科

2 許可病床数

一 般		療 養		結 核		精 神		感 染 症		合 計	
室	床	室	床	室	床	室	床	室	床	室	床
38	139									38	139

3 構造設備

(1) 総括表（該当する業務の区分及び所有する施設・設備等の□にチェックすること。）

業務の区分	施 設	設 備 等
<input checked="" type="checkbox"/> 救急医療 <input type="checkbox"/> 精神科救急医療 <input type="checkbox"/> 災害医療 <input type="checkbox"/> へき地医療 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> へき地診療所 <input type="checkbox"/> 周産期医療 <input type="checkbox"/> 小児救急医療	<input checked="" type="checkbox"/> 集中治療室 <input type="checkbox"/> 母体胎児集中治療管理室 <input type="checkbox"/> 新生児集中治療管理室 <input checked="" type="checkbox"/> 診察室 <input checked="" type="checkbox"/> 手術室 <input checked="" type="checkbox"/> 処置室 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査施設 <input checked="" type="checkbox"/> エックス線診療室 <input checked="" type="checkbox"/> 調剤所 <input type="checkbox"/> 保護室 <input checked="" type="checkbox"/> 面会室 <input checked="" type="checkbox"/> 専用病床（ 12床） <input type="checkbox"/> 優先的に使用される病床 <input type="checkbox"/> 備蓄倉庫 <input type="checkbox"/> ヘリポート（ <input type="checkbox"/> 敷地内 <input type="checkbox"/> 近接地） <input type="checkbox"/> 医師住宅 <input type="checkbox"/> 看護師住宅	<input type="checkbox"/> 分娩監視装置 <input type="checkbox"/> 新生児用呼吸循環監視装置 <input checked="" type="checkbox"/> 超音波診断装置 <input type="checkbox"/> 新生児用人工換気装置 <input type="checkbox"/> 微量輸液装置 <input type="checkbox"/> 保育器 <input type="checkbox"/> 簡易ベッド <input type="checkbox"/> 携帯用医療機器 <input checked="" type="checkbox"/> 食料 <input checked="" type="checkbox"/> 飲料水 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品 <input checked="" type="checkbox"/> 自家発電装置 <input checked="" type="checkbox"/> トリアージタッグ <input checked="" type="checkbox"/> 救急用自動車 <input checked="" type="checkbox"/> 広域災害・救急医療情報システム

(2) 災害医療の確保に関する事業に係る病院の概要

区 分	構造の概要	耐震基準	用途の区分	室 数

(3) へき地医療拠点病院に医師を派遣する場合、又は開設するへき地診療所の所在地の都道府県において病院を開設する場合の当該病院の概要

病 院 名	施 設	へき地診療所からの入院患者の受 入れ体制
	<input type="checkbox"/> 診察室 <input type="checkbox"/> 手術室 <input type="checkbox"/> 処置室 <input type="checkbox"/> 臨床検査施設 <input type="checkbox"/> エックス線診療室 <input type="checkbox"/> 調剤所 <input type="checkbox"/> 病床数 (床) <input type="checkbox"/> 医師住宅 <input type="checkbox"/> 看護師住宅	
	<input type="checkbox"/> 診察室 <input type="checkbox"/> 手術室 <input type="checkbox"/> 処置室 <input type="checkbox"/> 臨床検査施設 <input type="checkbox"/> エックス線診療室 <input type="checkbox"/> 調剤所 <input type="checkbox"/> 病床数 (床) <input type="checkbox"/> 医師住宅 <input type="checkbox"/> 看護師住宅	
	<input type="checkbox"/> 診察室 <input type="checkbox"/> 手術室 <input type="checkbox"/> 処置室 <input type="checkbox"/> 臨床検査施設 <input type="checkbox"/> エックス線診療室 <input type="checkbox"/> 調剤所 <input type="checkbox"/> 病床数 (床) <input type="checkbox"/> 医師住宅 <input type="checkbox"/> 看護師住宅	

4 職種別従業員数

職種 人員	医師	歯科医師		薬剤師	診療放射線技師	歯科技工士	臨床検査技師	歯科衛生士	看護師	助産師	栄養士	理学療法士	作業療法士	臨床工学士	事務職員	調理師	その他	計
定員	11			6	6		4		75		3	25	20	1	26		40	217
実人員	14			7	8		5		109		6	41	36	3	47		48	324
内特殊関係者	3			0	0		0		0		0	0	0	0	0		0	3

5 勤務体制

	体制	昼間（15時現在）		夜間（3時現在）		休日（15時現在）	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
医師	病院内	11		1		1	
	オンコール			1		1	
内 精神科医（再掲）	病院内						
	オンコール						
内 小児科医（再掲）	病院内						
	オンコール						
内 産婦人科医（再掲）	病院内						
	オンコール						
薬剤師	病院内	4		0		2	
	オンコール						
診療放射線技師	病院内	6		1		1	
	オンコール						
臨床検査技師	病院内	4		0		1	
	オンコール			1		0	
看護師	病院内	39		13		25	
	オンコール			2		1	
合 計	病院内	64		15		30	
	オンコール			4		2	
内 救急医療（再掲） （精神科救急医療含む）	病院内	64		15		30	
	オンコール			4		2	
内 周産期医療（再掲）	病院内						
	オンコール						
内 小児救急医療（再掲）	病院内						
	オンコール						

6 その他の体制

(1) 精神科救急医療の場合のみ

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行規則第5条の2第1号に基づく都道府県知事の指定の有無（有・無）
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行規則第5条の2第3号に基づく常時勤務する指定医の人数（ 人）

(2) 災害医療の場合のみ

- ・災害派遣医療チーム（DMAT）の有無（有・無）

添付書類 1-2 (救急医療)

医療法第42条の2第1項第5号の要件に該当する旨を説明する書類

申請者名：社会医療法人 榮昌会 理事長 吉田泰久

住 所：兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

以下のとおり相違ありません。

病 院 名	社会医療法人榮昌会吉田病院
病院の所在地	兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号
管轄保健所名	神戸市保健所

〔夜間等救急自動車等搬送件数〕

消防機関の救急自動車による搬送件数	①	2,713件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	②	0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	③	0件
ヘリコプターによる搬送件数	④	0件
合 計		2,713件
3会計年度平均		904件
直近に終了した3会計年度に含まれる令和2年2月から令和3年3月までの月数 (A)		12月
直近に終了した3会計年度に含まれる令和3年4月から令和4年3月までの月数 (B)		12月
直近に終了した3会計年度中に国又は地方公共団体からの要請（新型コロナウイルスの発生又はまん延に起因するものに限る。以下同じ。）を受けて休業した日がない 場合の基準値 ・ 救急医療については、 別添1中別表1上欄に掲げる月数（A）の区分に応じそれぞれ同表の下欄に掲げる数と別表2上欄に掲げる月数（B）の区分に応じそれぞれ同表の下欄に掲げる数とを合計した数を750から控除した数 ・ 災害医療については、 別添1中別表3上欄に掲げる月数（A）の区分に応じそれぞれ同表の下欄に掲げる数と別表4上欄に掲げる月数（B）の区分に応じそれぞれ同表の下欄に掲げる数とを合計した数を600から控除した数	⑤	699件
直近に終了した3会計年度における国又は地方公共団体からの要請を受けて休業した日数（※）	⑥	0日

直近に終了した3会計年度中に国又は地方公共団体からの要請を受けて休業した日がある場合の基準値 (⑤-⑥×2÷3)	0件
--	----

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した3会計年度における夜間（午後6時から翌日の午前8時までとし、休日を除く。）及び休日（日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日及び年末年始の日（1月1日を除く12月29日から1月3日まで）及び土曜日又はその振替日）の救急搬送件数を記載すること。

※国又は地方公共団体からの要請により休業した日数

期間	日数
年 月 日～ 年 月 日	日
年 月 日～ 年 月 日	日
年 月 日～ 年 月 日	日
年 月 日～ 年 月 日	日
年 月 日～ 年 月 日	日
年 月 日～ 年 月 日	日
通算日数	⑥ 日

添付資料

- 夜間等救急自動車等搬送件数明細表
- 夜間等救急自動車等搬送件数を証明する書類（救急搬送証明書等の写し（患者の氏名及び住所に係る記載の部分については、消去等の処理をすること。））

夜間等救急自動車等搬送件数明細表

(自 令和2年 4月 1日 至 令和3年 3月31日)

消防機関の救急自動車による搬送件数	918件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
ヘリコプターによる搬送件数	0件
合計	918件

(自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月31日)

消防機関の救急自動車による搬送件数	889件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
ヘリコプターによる搬送件数	0件
合計	889件

(自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月31日)

消防機関の救急自動車による搬送件数	906件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
ヘリコプターによる搬送件数	0件
合計	906件

(合 計)

消防機関の救急自動車による搬送件数	2,713件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
ヘリコプターによる搬送件数	0件

(記載上の注意事項)

○ (合計) の表以外については、会計年度毎に記載すること。

添付書類 6

公的な運営に関する要件（医療法第42条の2第1項第1号から第3号まで及び第6号）に該当する旨を説明する書類（運営）

申請者名：社会医療法人 榮昌会 理事長 吉田泰久

住 所：兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2番6号

以下のとおり相違ありません。

1 運営組織（法第42条の2第1項第1号から第3号まで、規則第30条の35の3第1項第1号イ及びハ）

	総 数	最も人数の多い 親 族 等 の グループの人数	親 族 等 の 割 合	最も人数の多い 他の同一団体の グループの人数	他の同一団体 の 割 合
理 事	9人	3人	27%	0人	0%
監 事	2人			0人	0%
社 員	11人	3人	27%		
評議員	0人	0人	0%		

2 役員等の選任方法（規則第30条の35の3第1項第1号ロ）

（財団医療法人である場合は、該当する項目欄の□にチェックすること。）

☐ すべての評議員を理事会において推薦

3 報酬等の支給基準（規則第30条の35の3第1項第1号二）

（該当する項目欄の□にチェックすること。）

☒ 理事、監事及び評議員に対する報酬等について、支給基準を定めている

	支給基準の内容
理 事	別紙役員報酬規定による
監 事	別紙役員報酬規定による
評議員	なし

添付資料

○ 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給基準

4 経理内容（規則第30条の35の3第1項第1号ホ及びへ）

区 分	医療法人の関係者、株式会社その他営利事業を営む者又は特定の個人若しくは団体に対する特別の利益の供与の内容	特別の利益の有無
施設の利用		有 ・ 無
金銭の貸付け		有 ・ 無
資産の譲渡		有 ・ 無
給与の支給		有 ・ 無
役員等の選任		有 ・ 無
その他財産の運用 及び事業の運営		有 ・ 無

5 遊休財産（規則第30条の35の3第1項第1号ト及び第2項）

区 分	金 額
A 資産の総額	5, 139, 520, 751円
B 純資産の額	3, 545, 963, 171円
C 純資産の額の資産の総額に対する割合（ $B/A \times 100$ ）	69.0%
D 控除対象財産の帳簿価額（イからへまでの合計額）	2, 140, 318, 109円
イ 本来業務の用に供する財産	2, 123, 818, 041円
ロ 附帯業務の用に供する財産	5, 280, 068円
ハ 収益業務の用に供する財産	0円
ニ イからハまでに掲げる業務を行うために保有する財産	11, 220, 000円
ホ 減価償却引当特定預金	0円
ヘ 特定事業準備資金	0円
E 遊休財産額（ $(A-D) \times C$ ）	2, 069, 449, 823円
F 事業費用の額	3, 488, 057, 133円

添付資料

- 直近に終了した会計年度の貸借対照表及び損益計算書（新たに社会医療法人の認定を受けようとする場合に限る。）

6 保有財産（規則第30条の35の3第1項第1号チ）

区 分	具 体 的 な 内 容	他の団体の意思決定への関与の有無
株 式		有 ・ 無
出 資	兵庫県医師協同組合、神戸市医師協同組合	有 ・ 無
社団法人の社員権		有 ・ 無
組合契約		有 ・ 無
信 託		有 ・ 無
外国の法令に基づく財産		有 ・ 無

7 法令違反（規則第30条の35の3第1項第1号リ）

区 分	具 体 的 な 内 容	事実の有無
法令違反		有 ・ 無
勧告に反する開設、増床、種別変更		有 ・ 無
帳簿書類の隠ぺい、仮装		有 ・ 無
その他公益に反する事実		有 ・ 無

役員報酬規程

(趣旨)

第1条 この規程は、社会医療法人榮昌会（以下「当法人」という。）の役員の報酬に関し、必要な事項を定めるものとする。

(役員の定義)

第2条 この規程において、役員とは、当法人の定款第27条に規定する理事及び監事とする。

(常勤役員の報酬)

第3条 役員のうち常勤の者（以下「常勤役員」という。）の報酬の額は年額で定める。

2 前項の常勤役員の報酬の年額は、4,000万円の範囲内とする。

3 個々の常勤役員に支給する報酬の額は、業務内容及び職責等を総合的に勘案して社員総会において定める。

(常勤役員の手当等)

第4条 使用人兼務役員以外の役員には、職員等に支給される各諸手当は支給しない。

(非常勤役員の報酬)

第5条 役員のうち、非常勤の者の報酬は月額とし、20万円以内とする。

(役員に対する利益配当の禁止)

第6条 役員に対する利益の配当は、その理由の如何を問わず行わない。

(委任)

第7条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

附 則 本規定は平成29年1月1日より実施するものとする。

(書類付表3)

保有する資産の明細表

1 総括表

区 分	業務の用に 供する財産	保有財産	減価償却引 当特定預金	特定事業 準備資金	その他の財産
流動資産	698,355,467 円				2,820,914,229 円
現金及び預金					2,820,914,229 円
医業未収金	651,502,149 円				0 円
医業未収金	29,013,131 円				0 円
たな卸資産	21,439,650 円				0 円
短期貸付金					4,320,000 円
立替金	75,060 円				0 円
仮払金	311,477 円				0 円
貸倒引当金	△ 3,986,000 円				△ 4,320,000 円
固定資産	1,430,742,642 円	11,220,000 円	0 円	0 円	178,288,413 円
有形固定資産	1,389,573,195 円	11,220,000 円			0 円
建物	742,816,890 円	0 円			0 円
構築物	5,050,991 円	0 円			0 円
医療用器械備品	272,859,909 円	0 円			0 円
その他の器械備品	12,596,664 円	0 円			0 円
車両及び船舶	3,633,454 円	0 円			0 円
土地	352,615,287 円	0 円			0 円
建設仮勘定	円	11,220,000 円			円
無形固定資産	34,985,831 円	0 円			0 円
電話加入権	1,563,544 円	0 円			0 円
ソフトウェア	33,422,287 円	0 円			0 円
水道施設利用権	0 円	0 円			0 円
その他の資産	6,183,616 円		0 円	0 円	178,288,413 円
出資金					22,000 円
役員従業員長期貸付金					7,600,000 円
長期前払費用	888,116 円				0 円
差入保証金	5,295,500 円				0 円
生命保険掛金					178,266,413 円
減価償却引当特定預金			0 円		
〇〇事業特定預金				0 円	
その他の固定資産	0 円				0 円
貸倒引当金					△ 7,600,000 円
資産合計	① 2,129,098,109 円	② 11,220,000 円	③ 0 円	④ 0 円	2,999,202,642 円

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した会計年度の貸借対照表に計上する資産について記載すること。
- 表中の科目については貸借対照表に合わせ、必要な科目の追加又は不要な科目の削除を行うこと。

2 業務の用に供する財産の明細

施設名(事業名) 区分	合 計	社会医療法人 榮昌会吉田病院	介護医療院よしだ	吉田病院ケアプラ ンセンター	吉田病院訪問看護 ステーション
流動資産	698,355,467 円	604,414,356 円	88,661,043 円	1,426,496 円	3,853,572 円
医業未収金	651,502,149 円	565,392,681 円	80,829,400 円	1,426,496 円	3,853,572 円
未収金	29,013,131 円	22,196,500 円	6,816,631 円	0 円	0 円
たな卸資産	21,439,650 円	20,005,698 円	1,433,952 円	0 円	0 円
立替金	75,060 円	0 円	75,060 円	0 円	0 円
仮払金	311,477 円	311,477 円	0 円	0 円	0 円
貸倒引当金	△ 3,986,000 円	△ 3,492,000 円	△ 494,000 円	0 円	0 円
固定資産	1,430,742,642 円	994,605,448 円	436,137,194 円	0 円	0 円
有形固定資産	1,389,573,195 円	958,229,867 円	431,343,328 円	0 円	0 円
建物	742,816,890 円	516,329,743 円	226,487,147 円	0 円	0 円
構築物	5,050,991 円	4,791,747 円	259,244 円	0 円	0 円
医療用器械備品	272,859,909 円	264,238,565 円	8,621,344 円	0 円	0 円
その他の器機備品	12,596,664 円	9,878,129 円	2,718,535 円	0 円	0 円
車両及び船舶	3,633,454 円	2,991,683 円	641,771 円	0 円	0 円
土地	352,615,287 円	160,000,000 円	192,615,287 円	0 円	0 円
無形固定資産	34,985,831 円	30,322,235 円	4,663,596 円	0 円	0 円
電話加入権	1,563,544 円	982,399 円	581,145 円	0 円	0 円
ソフトウェア	33,422,287 円	29,339,836 円	4,082,451 円	0 円	0 円
水道施設利用権	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
その他の財産	6,183,616 円	6,053,346 円	130,270 円	0 円	0 円
長期前払費用	888,116 円	843,346 円	44,770 円	0 円	0 円
差入保証金	5,295,500 円	5,210,000 円	85,500 円	0 円	0 円
資産合計	⑤ 2,129,098,109 円	1,599,019,804 円	524,798,237 円	1,426,496 円	3,853,572 円

(記載上の注意事項)

- 直前に終了した会計年度の貸借対照表に計上する資産について、開設する施設毎に記載（同一施設内において複数の事業を行っている場合にあっては、主たる事業については施設名、その他については事業名を記載）すること。
- 表中の科目については貸借対照表に合わせ、必要な科目の追加又は不要な科目の削除を行うこと。
ただし、現金、預金、有価証券、建物仮勘定、貸付金その他これに類する資産については追加しないこと。
- ⑤が①と一致すること。

3 保有財産の明細

保有財産（使用目的）	使用予定年月日	取得年月日	取得価額	保有財産の 帳簿価額
建設仮勘定	R5. 7. 31	R5. 2. 20	11, 220, 000円	11, 220, 000円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
合 計	—	—	円	⑥ 11, 220, 000円

（記載上の注意事項）

○ ⑥が②と一致すること。

4 減価償却引当特定預金の明細

当該資金の目的	財産の取得又は 改良の予定年度	左記の予定年度 に必要な最低額	減価償却累計額	減価償却引当特定 預金の帳簿価額
なし		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
合 計	—	円	円	⑦ 0円

（記載上の注意事項）

○ ⑦が③と一致すること。

5 特定事業準備資金の明細

当該資金の目的	特定事業の開始 予 定 年 度	左記の予定年度 に必要な最低額	毎会計年度に 積み立てる額	特定事業準備資金 の帳簿価額
なし		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
合 計	—	円	円	⑧ 0円

（記載上の注意事項）

○ ⑧が④と一致すること。

○ 当該資金の目的毎に必要な最低額に関する合理的な算定根拠について、「特定事業準備資金の明細の別紙」（任意の様式）を作成し、併せて提出すること。（なお、当該別紙についても閲覧対象であること）

6 土地の明細

住 所	総面積	内 借地の面積	内 自地の面積	用途の区分
別紙4	㎡	㎡	㎡	
	㎡	㎡	㎡	
	㎡	㎡	㎡	

7 建物の明細

区 分	構造の概要	総 面 積	自家・借家	用途の区分	用途別の面積
別紙5		㎡			㎡
					㎡
					㎡
		㎡			㎡
					㎡
					㎡
		㎡			㎡
					㎡
					㎡

8 医療用器械備品の明細

品 名	規 格	数 量	単 価	自用・借用	用途の区分
MR I 装置	Achieva dStream 1.5T HP	1	1	自用	放射線室
手術用ナビゲーションシステム	973-SYSJT	1	1	自用	手術室
ベッドサイドモニター	BSM-2301	6	1	自用	1 階 SCU
X線撮影装置	RAD speed Pro	1	1	自用	放射線室
DR CALNEO	Smart C47	1	1	自用	放射線室
内視鏡	ENDARM セット	1	1	自用	手術室
手術用顕微鏡	OPMI pentero C	1	1	自用	手術室
超音波診断装置	HD15	1	1	自用	検査室
筋電図誘発電位検査装置	(4Ch) MEP 仕様	1	1	自用	検査室
負荷歩行訓練装置	PML-1000	1	1	自用	リハビリ室
生体情報モニター	BP-608EV3	1	1	自用	3 階病棟
その他少額物品多数					